

屋外タンク貯蔵所構造設備明細書

事業の概要		<b>1</b>			
貯蔵する危険物の概要		引火点	℃	貯蔵温度	℃
基礎、据付方法の概要					
4 タンクの構造、設備	形状	<b>(1)</b>		<b>(2)</b> 常圧・加圧(            kPa)	
	寸法	<b>(3)</b>		容量	<b>(4)</b>
	材質、板厚	<b>(5)</b>			
	<b>(6)</b> 通気管	種別	数	内径又は作動圧	
				mm kPa	
	<b>(7)</b> 安全装置	種別	数	作動圧	
				kPa	
	液量表示装置	<b>(8)</b>		引火防止装置	<b>(9)</b> 有・無
不活性気体の封入設備	<b>(10)</b>		タンク保温材の概要	<b>(11)</b>	
注入口の位置	<b>5</b>		注入口付近の接地電極	<b>6</b> 有・無	
7 防油堤	構造		容量	排水設備	
	<b>(1)</b>		<b>(2)</b>	<b>(3)</b>	
ポンプ設備の概要		<b>8</b>			
避雷設備		<b>9</b>			
配管		<b>10</b>			
消火設備		<b>11</b>	タンクの加熱設備	<b>12</b>	
工事請負者住所氏名		<b>13</b>			
		電話			

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A4 とすること。

(屋外タンク貯蔵所構造設備明細書)

- 1 「事業の概要」欄は、屋外タンク貯蔵所を設置する事業所等の事業の概要を記入する。
- 2 「貯蔵する危険物の概要」欄は、屋外タンク貯蔵所に貯蔵する危険物の引火点及び加熱設備等常温以外の状態で貯蔵する場合は貯蔵温度を記入する。
- 3 「基礎、据付方法の概要」欄は、タンクの地盤の改良方法、基礎型式及びタンク固定方法の概要を記入する。なお、くい基礎、リング基礎については、昭和57年2月22日消防危第17号「くい又はリングを用いた特定屋外貯蔵タンクの基礎及び地盤に関する運用基準について」に示す構造のものをいう。
- 4 「タンクの構造、設備」欄は、次による。
  - (1) 「形状」欄は、形状及び屋根形状を、「縦置円筒型（コーンルーフ）」「横置円筒型（中仕切り）」「角型」等と記入する。
  - (2) 「常圧・加圧（kPa）」欄は、タンクの貯蔵方法に該当するものに○を付け加圧の場合はその圧力を記入する。なお、常圧とは、正圧または負圧で5キロパスカルを超えないものをいう。
  - (3) 「寸法」欄は、内径、高さ、側板高さ、胴長（円筒部分の長さ）、鏡出等を記入する。
  - (4) 「容量」欄は、内容積、空間容積、容量を記入する。
  - (5) 「材質、板厚」欄は、底板、胴板、鏡出、屋根板、側板の材質及び板厚を記入する。
  - (6) 「通気管」欄中、「種別」は無弁通気管又は大気弁付通気管の別、「数」は設置数、「内径及び作動圧」、無弁通気管にあっては内径、大気弁付通気管にあっては内径及び作動圧を記入する。
  - (7) 「安全装置」欄は、圧力タンクの場合、その種別、設置数、内径及び作動圧を記入する。
  - (8) 「液量表示装置」欄は、設置する液面計の形式等を記入する。
  - (9) 「引火防止装置」欄は、有無に○を付ける。
  - (10) 「不活性気体の封入設備」欄は、不活性気体を封入する設備がある場合、概要を記入する。
  - (11) 「タンク保温材の概要」欄は、タンクの外面に保温材が仕様されている場合に、保温材の材質、固定方法等を記入する。
- 5 「注入口の位置」欄は、タンクにドラム缶、移動タンク貯蔵所等から受け入れる注入口の設置場所を記入する。
- 6 「注入口付近の接地電極」欄は、注入口付近のローリーアース等の有無に○を付ける。
- 7 「防油堤」欄は、次による。
  - (1) 「構造」欄は、防油堤の構造を記入する。
  - (2) 「容量」欄は、防油堤の容量を記入する。
  - (3) 「排水設備」欄は、防油堤内の雨水等の排水系統を記入する。
- 8 「ポンプ設備の概要」欄は、ポンプの種類及び最大吐出量、ポンプの原動機の種類及び防爆構造等を記入する。なお、ポンプ室の場合は建築物構造等を記入する。
- 9 「避雷設備」欄は、「独立避雷針」、「独立架空地線」、「ケージ」のうち該当するものを記入する。
- 10 「配管」欄は、配管又は附属配管の材質、口径、接続方法、防錆・防食方法を記入する。
- 11 「消火設備」欄は、危険物令別表第5の消火設備の区分のうち、設置するものを、例えば「第3種泡消火設備（固定式）」、「第5種（粉末ABC消火器3.5kg）」と記入する。

(屋外タンク貯蔵所構造設備明細書)

- 12 「タンクの加熱設備」の欄は、タンクに設置される加熱設備の概要及び加熱媒体を記入する。
- 13 「工事請負者住所氏名」の欄は、工事を請け負う法人の名称及び住所並びに工事責任者の氏名、電話番号を記入する。

様式第4のハ（第4条、第5条関係）

屋外タンク貯蔵所構造設備明細書

事業の概要					
貯蔵する危険物の概要		引火点	℃	貯蔵温度	℃
基礎、据付方法の概要					
タンクの構造、設備	形状			常圧・加圧(	kPa)
	寸法			容量	
	材質、板厚				
	通気管	種別	数	内径又は作動圧	
					mm kPa
	安全装置	種別	数	作動圧	
					kPa
	液量表示装置			引火防止装置	有・無
不活性気体の封入設備			タンク保温材の概要		
注入口の位置			注入口付近の接地電極	有・無	
防油堤	構造		容量	排水設備	
ポンプ設備の概要					
避雷設備					
配管					
消火設備		タンクの加熱設備			
工事請負者住所氏名		電話			

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A4 とすること。